

並河成資氏胸像／コシヒカリ記念碑（長岡市長倉町）

高柳 充寛（生物系 技術職員）

新潟県といえばこめどころ、中でも魚沼産コシヒカリは日本一おいしいお米として有名です。そんな新潟のお米も昔は鳥でさえ見向きもせず、またいで通るほどまずい「とりまたぎ米」といわれていたそうです。湿田が多くて生育環境が悪く、また火力乾燥の無かった時代に収穫が遅いと、秋の長雨の時期に重なって乾燥がうまくできないため貯蔵性が悪くて食味が下がるといったことがあったようです。その不名誉な「とりまたぎ米」の名を返上するのに役立ったのが農林1号とコシヒカリの2品種で、この2つの品種育成と普及に新潟県農業総合研究所の前身である、新潟県農事試験場が大きく貢献したのです。それらを記念する顕彰碑や記念碑が新潟県農業総合研究所 作物研究センターにあります。

その一つがコシヒカリの花粉親（父親に当たる）となった農林1号の育成者、並河成資氏の胸像です。この地で並河氏らによって育成された農林1号は早生（わせ）で多収穫、その上当時としては良食味で、新潟県をはじめとする北陸の救世主となったそうです。台座には農林1号などの種

子が貯蔵され、千年後と一万年後に開封されることになっているそうです。

もう一つがコシヒカリ記念碑です。この地で交配され、福井県に送られた種子からコシヒカリが育成されたのですが、倒れやすくまた稲の大敵いもち病に非常に弱いコシヒカリを普及指導したのは新潟県くらいでした。そういうわけでコシヒカリの生みの親が福井県なら育ての親は新潟県ということになります。といっても魚沼等の山間地向けの良い品種がなかった新潟県が次善の策として採用したというのが実情のようですが、コシヒカリの実りの時期に理想的な昼夜の気温較差があること等魚沼の風土にマッチし、日本一おいしいお米にまでなったのです。その評判により魚沼以外の地域、他県でもコシヒカリ栽培が広がり、育成から50年が過ぎた今コシヒカリは栽培面積日本一の品種となっています。

新潟県農業総合研究所 作物研究センターは例年7月に一般公開をしているようですので、その際に昔に思いをはせつつ御覧になってはいかがでしょうか。



コシヒカリ記念碑



並河成資氏胸像

編集後記

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学の広報誌VOS第139号をお読みくださりありがとうございます。いかがでしたでしょうか？新たに一人暮らしを始める人も多いことと思います。これからの生活で一番大切なことはコミュニケーションを取ることです。わからないことや不安なことは、周りの人に聞けば解決できます。同様に本誌のこの記事は良かった、このようなことを載せてほしい等々、本誌をよりよくするためにもご意見をどしどしお寄せください。

VOS139号（平成19年4月）

編集発行／長岡技術科学大学広報委員会（総務部 総務課）

* 本誌に対するご意見等は下記までお寄せください。

〒940-2188 長岡市上富岡町1603-1

Tel.0258-47-9209 Fax.0258-47-9000

E-mail skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp

U R L : <http://www.nagaokaut.ac.jp/>

VOSの由来

本学のモットーである,Vitality,Originality,Servicesの頭文字をとって,本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。

特集 新入生歓迎!!

Contents

- 2 学長告辞
- 4 副学長・各課程主任からのメッセージ
- 8 キャンパスダイアリー
- 9 グローバルカフェ
- 10 サークル一覧/新入部員募集
- 11 新入生へのメッセージ
- 14 留学生行事
- 20 模擬国連
- 21 卒業生だより
- 22 トピックス
- 23 平成18年度 就職状況等一覧
- 24 にいがたみてある記/編集後記





学長告辞

勤勉の積み重ねを

長岡技術科学大学長
小島 陽

新入生の諸君，入学おめでとう。教職員を代表して、歓迎のお祝いを申し述べます。

今年は、ここ長岡でもまれにみる小雪・暖冬でした。まだ、越後三山をはじめ東山には残雪が見られますが、長岡は信濃川を見渡せる自然が美しく調和した地であり、四季がはっきりしています。諸君が勉学するのは、好都合な環境にあります。これからの技大での数年間は、諸君の一生にとって、かけがえのない青春の時であり、くいのない実りある学生生活を送り長岡を第2のふるさとにしてください。

諸君は、今、期待や不安が入り混じった複雑な思いをしていることでしょう。これまで過ごしてきた、小学校、中学校、高等学校、あるいは高等専門学校では、ややもすると先生あるいは親の言うとおりにすることが善しとされ、言われるとおりに過ごすことが多かったと思います。でも、これからは違います。大学は、ただ勉強を教えてもらうところではなく、自ら学ぶ場所です。また、生活に関することもすべて自分でやっていかなければなりません。全て自己責任となります。しかし、大学という所は、意欲のある人間には大いにチャンスが与えられる場でもあります。大学では、手とり足とりでの指導はなされません。学ぼうとする諸君の手助けをするだけです。これは、逆にいえば、諸君は自分の好きなように時間を使うことができ、色々なことに挑戦できる時間が増えるというこ

とです。しかし、いつでも出来る、後でやろうなどと考えていると、あっという間に時間は過ぎてしまいます。そこで、まず在学中に達成したい目標を立て、それを実現するために行動してください。例えば、資格をとるために勉強するとか、スポーツの大会で好成績を上げるために猛練習するとか、英会話をマスターするとかいった事でもいいでしょう。

諸君は、何かしら目的を持って、数多くの大学の中から長岡技大を選んだことと思います。漠然と毎日を過ごすのではなく、この大学で自分は何をしたいのか、今何をすべきなのかを時々考えながら大学生活を送ってください。

目標を達成するためには、「勤勉の積み重ね」が重要です。自分の目標に向かって、「勤勉」に取り組んでください。夢を実現させるためには、多少遠回りしても真面目にコツコツ努力する必要があります。時には、「忍耐」が必要になってきます。勤勉さは不可能を可能にしてくれます。そして、「忍耐」・「勤勉」にくわえて、さらに「知恵を絞り、工夫を凝らす」必要があります。努力することによって、「幸運」がもたらされるものです。

本学では、開学30周年を大きな節目として、新しい時代へ乗り出そうとしています。大学院博士後期課

程では「生物統合工学専攻」を新たに加え、今までの「情報・制御工学専攻」、「材料工学専攻」、「エネルギー・環境工学専攻」とあわせて4専攻となり、我が国の4大科学技術重点分野をカバーすることができました。また、新たに、社会人対象の専門職大学院 技術経営研究科 システム安全専攻を開設するなど、常に社会をリードする体制をとっています。

これからは、人々を真に豊かにする安全・安心な社会を作り出さなければなりません。言うまでもなく、そのためには、科学技術の正しい進展が不可欠であり、その社会を建設する担い手は、君たち若い諸君です。本学は、研究面では、世界的研究水準にあるとして、「21世紀COEプログラム」、また、教育面では、特色ある教育プログラムとして「教育GP」、「現代GP」、「大学院GP」が採択されており、諸君の勉学の場は整っています。

これからの大学生活に期待を抱いてください。我々教職員スタッフ一同は、教育・研究のみならず、生活指導を含めて、最大限の努力をして、諸君の勉学・生活推進に協力します。

ここ長岡で学ぶ数年が充実した日々となることを祈念して、入学式の祝辞と致します。



新入生への期待

入学生、編入生の皆さん、入学おめでとうございます。本学への入学、心から歓迎いたします。

十年一昔といいますが、十年前が古くなるほど、今の社会は変化しています。新しいものに向き合い、それに対処するには、しっかりした土台こそが必要です。ぜひ、その確固たる土台の基礎を、本学で磨きあげてください。

現在は世界全体が活躍の場となり、教育も国際的な流れの中で資格の統一が進み、学部は技術面の知識と技能の体得、修士はそれを学問的に理解・整理し発展させ体得する場、博士はそれらの能力を具体的に実践する場、として位置付けられてきています。

ハーバードビジネススクールの教授の最終講義の話の中に、「カーレースで勝つための条件」があります。それは、1.エンジン（脳味噌）、

副学長より 新入生へのメッセージ



副学長
宮田 保 教

2.正確なハンドルさばき、3.よく効くブレーキ、4.しっかりしたサスペンション、5.十分な燃料タンク、6.判断力、7.優秀なピットクルー、であると。

これらの条件は、形こそ違いますが、これからの皆さんの勉学にも当てはまると思います。専門の知識や技能だけでなく、教養的知識も合わせて身に付けないと、成功しないのです。日々の努力、鍛錬、友達、そして心の余裕（広さ）が求められます。

ピラミッドも一つ一つの石を積み上げて出来るのです。石の上にも三年です。皆さんも、明日の自分を楽しみに、石を積み上げるように努力されて、社会人となったときに、国際的に活躍できる技術者となっていることを、期待しています。

各課程主任より

新入生へのメッセージ



電気電子情報工学課程主任
山崎 克之

的・実用的な技術を学習します。

電子デバイス・光波エレクトロニクス・コース：半導体、磁性体、超伝導体、誘電体、液晶等の電子デバイス材料、及び電波・光波に関する基本的事項を学習するとともに、主要産業の1つである半導体集積回路、光エレクトロニクス関連デバイス等の先端技術、新機能素子の開発や、それらを組み合わせるシステム化技術を学習します。

情報・通信システム・コース：現在急速に進展しているICT革命（情報通信技術革命）の中心的な役割を果たすコンピュータやネットワーク、情報処理・通信技術について、ハードとソフトを活用したシステムの新たな処理方式、構成・設計法、シミュレーション、応用システムの実現と性能向上など先端技術を学習します。

ご入学、おめでとうございます。『人生は何事をもなさぬにはあまりに長い、何かをなすにはあまりに短い』と言われるが、学生生活もまたしかり、です。大学での勉強を通して技術・科学に対する素養と想像力を培うことはもちろんですが、自発的に、興味をもつ分野の学習、自分を磨くための趣味、などなど、新しいことにチャレンジしてください。

電気電子情報工学課程では以下の3つの分野を系統的に学ぶことができます。

エネルギーシステム・コース：社会のダイナミズムを支えるエネルギーとそれを利用するシステムを対象として、種々のエネルギーの発生・輸送・貯蔵、並びにこれらのシステムの制御や応用などについて、地球環境を配慮してハード・ソフトの両面から高機能化・高品位化に関する先進

各課程主任より

新入生へのメッセージ



機械創造工学課程主任
青木 和夫

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。機械創造工学課程一同、皆さんを心から歓迎いたします。

これから始まる大学生活は皆さんの一生から見れば短い期間かもしれませんが、今後の人生を切り開いていくうえで非常に重要な時期です。全員が入学時の熱い希望を持ち続け、充実した大学生活を送ることを強く希望しています。

機械工学は常にものづくり技術の中核に位置しています。新しい技術や産業が発展すれば、それに伴って機械工学がカバーすべき学問領域は必ず広がります。やがて機械技術者となる皆さんに

は、拡大する領域に対応できる柔軟な発想と推進する能力が期待されています。自分の頭でものを考えることを基本に、何事にも好奇心をもち熱い心で勉学に打ち込んでください。

本課程の名称には、一般的な機械工学の名称に「創造」が加えられています。この意味するところは、本課程が機械工学全般の習得だけにとどまらず、創造的能力の育成を主眼としていることです。皆さんが本課程の名称にふさわしい創造性をもった技術者となる第一歩を踏み出すことを大いに期待しています。

各課程主任より

新入生へのメッセージ



材料開発工学課程主任
五十野 善信

ご入学おめでとうございます。心より歓迎します。材料開発工学課程・専攻では、新しい材料を作ったり、改良したり、あるいは新しい材料が特性を発現するメカニズムを調べたりしています。このような研究を進めるためには、化学、物理、数学などの基礎的学問をきちんと学び、それらを駆使して、自分で考えることが重要です。そのため、1、2年次では教養科目に加えて、広い意味での化学の基礎を十分に学んでいただきます。後半の学部3、4年生では、2年間を3期に分け、学力養成期間（3年前期）で基礎学力充実を願い、3年次9月はじめの研究室配属から1年間（研究力養成期間）で基礎的研究能力と成果発表能力を習得いただいた上で、4年後期の実務訓練履修ならびに実務訓練発表により学力・研究力実

証に努めていただく教育プログラムを進めています。これにより、大学院で実践的研究を進めていただくことができます。もちろん、努力を重ねていただければ、大学院早期修了も夢ではありません。学部課程で重要なことは、将来どんなことをしたいか、目標を明確に定め、そのために必要ないろいろな事柄を十分に学んでいただくことです。自然科学、工学を学ぶだけではなく、語学力、討論力、対話力、体力などを高めることも極めて重要です。もちろん、環境に配慮できる技術者倫理を備えていただくことも重要です。社会から求められるのは総合力です。材料開発工学課程でしっかり学び、材料開発工学専攻に進学され、求められる有為の人材に成長されることを期待しています。

各課程主任より

新入生へのメッセージ

建設工学課程主任

長井正嗣



新入生の皆さん入学おめでとうございます。建設工学課程教官一同、皆さんを歓迎するとともに、一緒に学んでいけることを光栄に思います。

建設工学課程では、「safety & comfort」、「eco-friendly」をキーワードに、良質な社会基盤構築のプラン、デザインに欠かせない基盤技術や応用技術を、社会、環境へのインパクトを考慮しつつ学びます。社会、文化、経済活動を行う上で欠かせない社会基盤には、道路、鉄道、空港、港湾施設や橋、河川、海岸構造物、もっと身近な情報通信施設や電気、水道、下水道設備などのライフラインがあります。

当課程は計画・環境工学（交通、環境防災）、水工防災工学（地盤、水工学）、構造工学（鋼及び複合、コンクリート）分野で構成されていま

す。それぞれが、次世代の持続可能な社会基盤、環境創生のあり方をにらみつつ地球規模の視点にたって研究を行っています。今後、老朽化した社会インフラが急増し、人々の安心、安全を脅かす可能性が高くなります。自然災害に対する防災技術や環境保全技術のみならず、維持管理、診断技術開発の重要性が益々大きくなります。

本分野では、多分野との協力の機会も多く、また活動が国際的になることから、深い専門性は言うまでもなく、幅広い知識と協調の精神が欠かせません。あわせて、高い公共心を持つ必要もあります。このような教育にも力を入れ、バランスのとれた、強いリーダーシップの発揮できるシビル・エンジニアを育成しています。

各課程主任より

新入生へのメッセージ

生物機能工学課程主任

古川清



ご入学、心よりお祝い申し上げます。大学で何を求め何を学ぶかは個人により異なることですが、そうした中で「一つのことに秀でる」ことはとても大切です。ちょうど一つの山に登れば山頂から他の山々が見えるように、一つのことをマスターすることで他の知らないことでもその姿を捉えることができます。こうした姿勢は、多様な世界や価値観が広がる21世紀を生きていく上で重要です。

さて生物機能工学の礎となる生命科学は、21世紀初めのヒトの設計図にあたる全遺伝子配列の解読を受けて、飛躍的な発展を遂げています。こうした世界で個性豊かなものを創造していくには、基本的な知識や技術を確実に習得し、さらに基本的な物の考え方を身につけ、そして豊かな個性を

育むことが大切です。そのためには生物機能工学課程で行われる多彩な講義や実験、さらに学内外での色々な人達との交流を通して、「物事の本質を見極める固有な目を養うこと」が肝要です。そして培った目を持って大学院では個々の研究に挑戦し、実を結んで欲しいと願っています。本学では4年生が実社会へでて研究を行なう実務訓練などの極めてユニークなシステムを、教育の一環として用意しています。この経験を通して実用性への関心やさらに豊かな個性を育むことができ、本学で学ぶ喜びの一つとなることでしょうか。大学の時間は、あっという間に過ぎてしまいます。そこで大学生活を送るにあたり、ささやかな提言をさせていただきました。

各課程主任より

新入生へのメッセージ

環境システム工学課程主任

佐藤一則



環境システム工学課程への入学を心から歓迎します。地球温暖化、異常気象、希少資源枯渇、および自然エネルギー開発など、地球環境に関わる問題が最近大きく取り上げられています。一方、私たちの身の回りにも、ゴミ問題、水質汚濁、土壌汚染、環境ホルモン、安全・衛生問題、住・生活環境問題など、多くの環境問題があります。このような問題のそれぞれに対して、学際的な観点からの技術的貢献を本課程では目指しています。このためには、皆さんが専門力、自立力、倫理力を着実に身につけて行くことが非常に大切です。

これらの能力は若いときにその土台となる基礎を学び、大学を卒業・修了してからもその能力を

いっそう向上させることができます。大学は単に知識を吸収するだけの場所ではありません。大学では、出身地や母国が異なる多くの人と接しながら、学ぶことができます。また、考え方が異なる友人にも出会えることと思います。さらに、在学中に外国において学ぶことのできる機会（海外実務訓練、海外語学研修、大学院での研究など）が、本学では数多くあります。これらは何事にも替え難い貴重な経験となります。

環境問題に貢献できる技術者・研究者となる道は容易ではありませんが、本学の恵まれた環境の中で十分にその基礎ができると信じています。ぜひ、我々とともに学びましょう。

各課程主任より

新入生へのメッセージ

経営情報システム工学課程主任

浅井達雄



入学、おめでとうございます。大学は、皆さんが今まで学んだところとは、根本的に異なった場所です。先生から言われたことだけを勉強するところとは大きく異なります。自ら考え、広く自主的に学ぶところです。大学の先生は皆さんと議論したり、みなさんに質問したりしてくれますが、これをやりなさいというようなことは今までの先生ほど言うてはくれません。言われたことをきちんとやるだけでは不十分です。大学はいかに自分が無知であるかを認識し、自ら学んでいくところです。

経営情報システム工学課程では、技術のことしか分からない技術者を育成するつもりはありません。経営のことが分かり、何が経営上の課題なの

かを理解したうえで、情報技術を駆使してその課題を解決できるプロフェッショナルの育成を目指しています。このためには、経営のことも情報技術のことも両方とも学ぶ必要があります。

経営情報システム工学課程には、情報系、システム系の工学はもちろんのこと、経済学、経営学、法学、教育学、医学など広範な分野の先生がそろっていて皆さんが入学してくる日を待ち望んでいました。皆さんの方もこれまで学んだ分野・専門はさまざまですが、それらを活かしながら新たな工学を共に学び考え、情報社会の明日を切り開いていきましょう。

Hybridization gives birth to a baby who is more intelligent than either of its parents.

グローバル カフェ

お昼休みにサークル活動の 発表を行います！

機械創造工学課程4年
齊藤 俊洋
(模擬国連サークル代表、サークル発表会世話役)

本学には、体育系30、文化系19、計49団体ものサークルがあり、日々活発な活動を行っています。

みなさんに日々の活動の成果、活動内容等をよく知ってもらうことを目的に今年度から、お昼休みの時間を利用し、中庭で披露することといたしました。

私達は、「グローバルカフェ」という活動のスタッフとして働いてきました。

グローバルカフェとは、日本人学生と留学生の交流をより活発にするため、多文化交流を主目的とした学生主体のオープンカフェのことで、無料のお茶の提供、持ち寄ったお弁当などを一緒に食べながら色々な言葉で楽しく会話をするものです。

今回、グローバルカフェ、クラブ連絡会のスタッフの協力のもと、「活力ある技大生を産み出すには、まず、学生同士のコミュニケーションから!」を合言葉にパワーアップ企画として考えたものです。

これが軌道にのり、成功すれば、長岡技術科学大学の新たな特色となることは、間違いありません!

私たちは学生です。勉強も遊びもサークルも元気を出していきましょう!きっと明るい未来が開けるはずです!

お昼休み、中庭でお待ちしてマース!!



学生 行事

1 休講措置を伴う学生行事

- 第27回技大祭
準備・前夜祭 9月14日(金)
本祭 9月15日(土)
本祭・後夜祭 9月16日(日)

2 休講措置を伴わない学生行事

- 春季球技大会 5月19日(土)
- 秋季球技大会 10月20日(土)

学事 日程

第1学期(4月1日~8月31日)

- 春期休業 4月 1日(日)~4月 4日(水)
- 入学式 4月 5日(木)
- ガイダンス 4月 5日(木), 4月 6日(金)
- 授業開始 4月 6日(金)
- 【技術経営研究科】
4月10日(火)
- 【工学部、工学研究科】
7月31日(火)
- 授業終了 7月31日(火)
- 夏期休業 8月 1日(水)~8月31日(金)

第2学期(9月1日~12月31日)

- 授業開始 9月 3日(月)
- 開学記念日 10月 1日(月)
- 授業終了 12月26日(水)
- 冬期休業 12月27日(木)~12月31日(月)

第3学期(1月1日~3月31日)

- 冬期休業 1月 1日(火)~1月 7日(月)
- 授業開始 1月 8日(火)
- 集中講義等終了 1月31日(木)
- 授業終了 2月29日(金)
- 卒業式・修了式 3月25日(火)
- 春期休業 3月26日(水)~3月31日(月)



実験の様子



合宿研修



鶴亀会の演奏(技大祭)



Circle

平成19年度 サークル一覧

体育系 (30団体)

- | | | | |
|---------------|-----------------|--------------|---------------|
| 1.サッカー部 | 9.バレーボール部(女子) | 17.少林寺拳法部 | 25.山野草会 |
| 2.硬式テニス部 | 10.バスケットボール部 | 18.サイクリングクラブ | 26.ヨット部 |
| 3.ラグビー部 | 11.バドミントン部 | 19.山岳部 | 27.大自然部 |
| 4.剣道部 | 12.釣り部 | 20.合気道部 | 28.フットサル部 |
| 5.自動車部 | 13.卓球部 | 21.実践空手道部 | 29.スノーボード部 |
| 6.柔道部 | 14.準硬式野球部 | 22.スキー部 | 30.留学生スポーツ交流部 |
| 7.陸上競技部 | 15.アメリカンフットボール部 | 23.弓道部 | |
| 8.バレーボール部(男子) | 16.ソフトテニス部 | 24.水泳部 | |

文化系 (19団体)

- | | | | |
|----------|-------------|---------------|---------------------|
| 1.吹奏楽部 | 6.しゅがく | 11.How to ART | 16.ESL |
| 2.無線部 | 7.AGL | 12.知音クラブ | 17.技大ボランティア
サークル |
| 3.PMC | 8.航空部 | 13.マジック愛好会 | 18.UN-Gidai |
| 4.茶道部 | 9.悠久太鼓愛好会 | 14.ベンチャークラブ | 19.TEC |
| 5.理科学研究会 | 10.青年赤十字奉仕団 | 15.たたら部 | |

新入部員募集

サッカー部

機械創造工学専攻1年 田山貴彦
(木更津高専 出身)

サッカー部は、平日の17時からグラウンドや体育館で練習を行っています。新潟県リーグ1部に所属し、月に2度試合があります。

技術の向上や軽い運動、友達づくりなどと、サッカー部に所属する目的は部員によって様々です。しかし試合では、勝つために部員全員が必至にボールを追いかけます。試合後には食事会を行い、学年の壁・課程の壁を越えた交流ができる大学内で最も活発な部です。

そんなサッカー部に興味がある人、サッカーが好きなのは非グラウンドに足を運んでみてください。近年は女子サッカーの人気も高まり、共にサッカーをやりたい人や趣味としてチームをサポートしたい女の子も大歓迎です。



フットサル部

生物機能工学課程3年 町田勇氣
(大阪市立都島工業高校 出身)

フットサル部は経験者だけでなく、部員の約半数が未経験者で活動しています。練習は週に2~3回あり、基礎とゲーム形式の練習を主に活動しています。また、社会人の大会にも出場し、好成績を収めています。フットサルがうまくなりたい人、気軽に楽しみたい人、一度やってみたい人、誰でも大歓迎です。



クラブ連絡会

本学には各サークル代表者1名ずつで構成されるクラブ連絡会(通称:クラ連)があります。クラ連では新年度クラブ予算の作成や、学内球技大会運営などの業務を行っています。



クラブ連絡会会長・材料開発工学課程4年
鈴木太志
(鶴岡高専 出身)

新入生へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私も昨年の4月、期待に胸を膨らませこの長岡で新しい生活を始めました。最初は分からないことが多く、不安でいっぱいだと思います。この不安を無くすにはサークルに参加していくことが一番の方法です。サークル活動を

通して多くの先輩や友人に出会うことで、これからの大学生活はとても楽しいものとなるでしょう。

本大学には野球などの体育系サークルが30、文化系のサークルが19あります。この中には皆さんの興味を引くサークルが必ずあるはずですよ。少しでも興味が持てたら、見学だけでも行ってみてください。きっとどのサークルも温かく迎えてくれることと思います。

また、本大学では球技大会や、技大祭などのイベントがあります。このようなイベントにも仲間を誘って積極的に参加してください。大学生活の楽しい思い出にして欲しいです。

ボランティアサークル Volt of Nuts

材料開発工学課程4年 新木一志
(群馬高専 出身)

活動は、中越大地震で被害に遭われた自治体などに足湯、イベントなどの参加をしています。また、中越地域の町づくりを、実際に現場に入って学生の視点なりに行っています。サークル内でも、イベントを企画して行ったりしています。また、各大学間の交流も行っています。様々な人達が集まるので、社会勉強ができたり、それによって自分を成長させたり、人脈を広げるには持って来いのサークルです。百聞は一見にしかず。このサークルを選ぶのは、あなたです。一緒に大学生活を満喫しましょう。



弓道部

材料開発工学課程3年 土肥秀典
(中越高校 出身)

弓道部は毎月行われる地区大会、大学生大会、夏の合宿、他大学との交流試合や飲み会など幅広く活動しています。興味をお持ちの方は、お気軽に弓道場まで見学に来てください。勿論、初心者の方も大歓迎です。弓道は人と人との結びつきが強いので、きっと良い仲間に出会えるはずです。皆さんが来るのを部員一同心よりお待ちしております。

【練習日】月・火・金 17:00~20:00
【場所】グラウンド内 弓道場



写真は去年の合宿のもので

先輩より 新入生へのメッセージ



情報制御工学専攻3年
石下 雅史
(小山高専 出身)

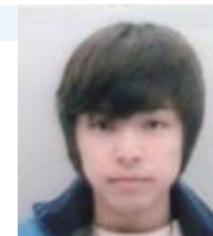
新入生の皆様へ

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新たな船出にあたり皆さんは期待と不安で心が高鳴っているでしょう。そんな皆様に無駄に長く学校に留まっている私からのアドバイスです。嫌な話からします。ここ数年、基礎学力がしっかりしていない学生さんを見る事が多いです。これから応用科目や研究に向かうに当たり一番大切なのは数学や各専門分野における基礎科目です。基礎としっかりと向き合えるのは今だけです。机にも向かいましょう。努力は嘘をつきません。楽しい事もいっぱいあります。人それぞれですが楽しみを見つけるのも大事なことです。ロボコンに向かう人、雪山にこもる人、私のように酒を飲んだり飲まれたりした人。様々です。その辺は然るべ

き先輩達が導いてくれるでしょう。日本酒のレベルはすごいので、いいものを試すことをオススメします。

最後に、最近、自分を追い込み過ぎてしまう人が多いみたいです。どうにかなりますよ。きっと。もし、ちょっと回り道を通ったとしてもたいしたことはありません。何故か私の周りには迂回した友人がいっぱいいて、皆しっかり社会人として頑張ってます。皆さんの可能性は無限大に限りなく近いです。まだスタートラインにも立ったばかり。どこに自分の才能があるのか、この学校には試す場所がいっぱいあります。一番大切なのは自分を信じることです。一緒にがんばっていきましょう。

先輩より 新入生へのメッセージ



電気電子情報工学専攻2年
新町 丈志
(鹿児島高専 出身)

大学は自由

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。南国鹿児島より、雪国新潟は長岡に編入した僕から、大学生活について少しアドバイスを送りたいと思います。

「大学は自由だ」高専在学中、僕の大学に対するイメージでした。大学に編入し、3年経つ今もそのイメージが変わりはありません。高専や高校のように、先生方は勉強しろとは言いませんし、遊ぶなとも言いません。勿論、勉強や私的な事を先生方に話せば相談に乗ってくれます。

詰る所、「勉強をするのも、遊ぶのも学生の意思次第である」ということです。そこで、皆さんには、勉強・遊び両方に目標を持ってもらいたいと思っています。例えば英語であれば、英検や

TOIECを1年間で~まで上げよう、遊びであればスノボを上手くなろう!など、なんでもいいです。僕の場合は3年に編入し大学院に進学予定だったので、海外実務訓練に行くこと、英語の力をつけることを、遊びではスノボ体験・新潟周辺観光を目標にしました。

講義など勉強する時は真剣に納得いくまで勉強をし、休日に遊ぶときは思いっきり遊んでください。そうすれば、勉強と遊びのめりはりがつき、自ずとそれぞれの目標をクリアできると思います。

ありきたりなアドバイスになりましたが以上です。最後に、楽しんで大学生活を過ごしてください!

新入部員募集

バドミントン部

電気電子情報工学課程4年 泉 裕 樹
(詫間電波高専 出身)

バドミントン部は月、火、木の週3日間活動しています。活動時間は19時~22時まで。

部員は初心者から経験者まで幅広く在籍しており、みんな明るくバドミントンを楽しみながら練習に励んでいます。週末には社会人リーグや地域の大会にも積極的に参加しています。

せっかくの大学生活なのだから楽しく有意義なものにしたいと思いませんか?バドミントン部ならきっと良い仲間と巡り会い、バドミントンを通じて日常では得られない経験ができるはずですよ。

経験者で大学でも続けようという人、少しでもバドミントンに興味のある人、運動したいけどどのサークルに入ろうか悩んでいる人は一度体育館まで足を運んでみてください。みなさんの入部をお待ちしております。

必要なのは、やる気とバドミントンが好きという気持ちだけです。



PMC

電気電子情報工学課程4年 英 達 夫
(弓削商船高専 出身)

PMCは音楽好きな人たちが集まり、その中でバンドを組んでライブをするサークルです。主に技大祭やクリスマスなど約2ヶ月に1回の定期ライブを行っております。また他大学との合同ライブもあるため様々な人たちと交流を深めることができます。

PMCは楽器ができないといって入れないわけではなく、音楽が好きという気持ちがあれば十分楽しめるサークルです。



学園祭ライブにて

合気道部

電気電子情報工学課程4年 入 江 雄 大
(詫間電波高専 出身)

私たち合気道部は水曜・金曜に大学道場での稽古、月曜・木曜に長岡合気会のもとでの稽古をそれぞれ午後7時から9時まで行っています。また、新潟県内の他大学との合同稽古や合同演武会、本部師範をお呼びしての講習会なども盛んに行っています。

合気道は敵の力を利用して敵を制する武道で、自然で無理のない動きをその特徴としており、体の大小や力の有る無しに関係なく稽古が出来ます。興味を持たれた方は、ぜひ一度道場を覗いてみてください。



技大祭演武会

TEC (Technical Education Circle)

電気電子情報工学専攻2年 田 上 真
(神奈川県立横須賀工業高校 出身)

新入生の皆様、入学おめでとうございます。TECは小中学生に科学技術や自然科学の面白さを伝える活動を、長岡市のNPO法人と共同で行っているサークルです。大まかな活動内容は次の3つです。

- 1.科学教室や科学イベントの計画・実施
- 2.科学教室や科学イベントで用いる教材の開発
- 3.これらプロジェクトの統括やマネジメント

スキルアップしたい人、なんかテッカイ仕事をやってみたい人、フツーな学生生活じゃワクワクするのを待ってます。

毎週金曜18:30~第1食堂前で活動中。



実施したイベント(ロボットコンテスト)での1コマ審判をしているTECの学生と順番を待つ児童。長岡市制100周年・合併記念事業「近未来! 越後長岡 産業展★ロボット展」において

新入生歓迎!!

留学生の皆さんへ

留学生年間行事予定

4 Apr	・バザーと新入生歓迎会 (むつみ会主催)	10 Oct	・バザーと交流会 (むつみ会主催) ・外国人留学生等実地見学旅行
5 May	・バス旅行 (むつみ会主催)	11 Nov	・長岡市めぐりバスツアー (長岡市国際交流協会主催)
6 Jun	・座禅 (むつみ会主催)	12 Dec	・留学生等交流懇談会 ・国際交流の夕べ (新潟地域留学生等交流推進会議主催) ・長岡国際祭り (留学生会主催)
7 Jul	・国際親善交流の夕べ (深才公民館主催) ・送別会 (むつみ会主催)	1 Jan	・ホームステイ
9 Sep	・外国人による日本語スピーチコンテスト (むつみ会主催)	3 Mar	・外国人留学生と日本人学生の交流スキー研修 ・送別会 (むつみ会主催)

先輩留学生より 新入生へのメッセージ

いろんな経験をしよう!

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。私が技大にきてから3年が経過しました。勉強や研究だけでなくいろんな経験をして楽しく過ごすことが出来ました。学生の方、研究の考え方や実験などアプローチの方法を学ぶことはもちろん大事ですが、それだけを学んでも十分ではないと思います。なぜなら就職後も同じテーマでずっと長いことやった人は少ないと思うからです。なので、自ら見聞の幅を広げていける人だけが生き残ります。皆さん、国際交流のイベントに参加したり、ホームステイをしたりするなど、勉強し、楽しみながら見聞や専門を広げるといいと思います。また、学校生活を充実させるのに、勉強だけではなく、様々なイベント、サークル活動などに参加し、大学内で多くの友達を作るのは大事であると思います。そのとき、十分なコミュニケーションをとるために、日本語、日本の文化を自分から進んで常に学んでいく姿勢が大事であると思います。

ん、国際交流のイベントに参加したり、ホームステイをしたりするなど、勉強し、楽しみながら見聞や専門を広げるといいと思います。

また、学校生活を充実させるのに、勉強だけではなく、様々なイベント、サークル活動などに参加し、大学内で多くの友達を作るのは大事であると思います。そのとき、十分なコミュニケーションをとるために、日本語、日本の文化を自分から進んで常に学んでいく姿勢が大事であると思います。

情報・制御工学専攻1年
リスカ ワルヤン
(インドネシア 出身)



留学生のホームステイ体験記

ホームステイ

2006年の最後の日、新しい環境、新しい人々と共に過ごし、迎えた2007年はまさに『新年』という感覚でした。ホストファミリーの安達さんは長岡在住で、父母娘の3人家族です。お父さんは親切でおもしろい人で、我々3人の留学生と友達のように接し、自分が訪問した国の話をしたり、外国の切手のコレクションを見せて話をしてくださいました。お母さんと娘さんも親切で、日本の料理やお酒を振る舞ってくださいました。自分の国とは全く異なる食事でしたが、とてもおいしくて大好きになりました。日本の伝統的なお正月料理を味わうことができ、幸福でした。夕食後、皆で歌ったり踊ったりして盛り上がりました。

午前0時に近くの神社に初詣に行きました。元日はお雑煮をいただいた後、各々の国の文化につい

て、また日本の文化や習慣について楽しく語り合いました。安達さんは、私たちに自分の家族のように親切にしてくださり、私は本当の家族と一緒にいるように感じました。2日間の滞在の一瞬一瞬が、忘れられない思い出となりました。

この度のホームステイで、日本について、また日本の文化や習慣についてたくさん学ぶことができ、また、ホストファミリーとの絆を強くすることができたと思います。このようなすばらしい機会を与えてくださった留学生支援係に心から感謝しています。



材料工学専攻3年
ケンドレカール プラビクマール
(インド 出身)

留学生等スキー研修報告

3月1日と2日に舞子スキー場にて

3月1日と2日に舞子後楽園スキー場にて、スキーをしてきました。スキーは6年ぶり、かなり楽しみにしていました。スキー場に到着し、心配していた通り、雪は少なかったです。地球温暖化につれ、暖冬で3月初めなのに春スキーのようでした。スキー場にも所々土が見える事もありました。皆さん、地球はこのままで大丈夫ですか?不安です。今後の生活において、環境を大事にする事を考えさせられました。

舞子後楽園ホテルに着き、昼ご飯を食べてからすぐにスキーの準備をしました。スキーとスノーボードの人がそれぞれインストラクターの指導で、練習を始めました。その中に、初心者が一生懸命に練習している姿が目立ち、午後の終了時間ぎりぎりまで、頑張っていました。

夜はスパで体の疲れを取り、食後にカラオケをしました。日本人からは英語曲、留学生からは日本或いは母国の曲の披露もありました。さすが、国際的なツアーだと感じました。

エネルギー・環境工学専攻1年
ムスタファー ビン モハマト タヒル
(マレーシア 出身)

2日目、皆が疲れを見せずに実習をしていました。午後になると、初心者もリフトに乗って滑って下りました。かなり上達が早いと思いました。雪の状態はあまり良くなかったですが、スキー・スノーボード、どちらも楽しめたようです。

1日半の滑りが終了し、毎日の研究からのストレスを結構解消できたといいますが、中にはスキーがストレスになる人もいるようです。何もかも、一生懸命に頑張る技大生の証拠でしょうか?

雪のない国から来た人にとって、良い経験が出来たと思います。また、せっかく長岡にいるのだから、少しでも滑れるようになりたいという気持ちがあります。今後も研究の合間に休みが取れば、近くのスキー場へ練習しに行きたいと思っています。

皆さん、新潟県の長い冬には、スキー場で(マナーを守りながら)楽しく滑る事が一番です。



筆者左側

先輩より 新入生へのメッセージ



材料開発工学専攻2年
箕輪 淳
(長岡高専 出身)

考える重要性を新入生へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから新しい生活が始まり、期待に胸を膨らませていることと思います。これからの学校生活を楽しく過ごすための考え方の一つとして、皆さんには考えた上で好きなことを好きなだけして欲しいというメッセージを送りたいと思います。

学生でいられるのは人生の中で今が最後になり、時間があるのもこの学生時代だけだと思います。ですからその時間を使って好きなことに没頭して悔いのないよう過ごして欲しいと思います。今まで義務教育として小学校と中学校で勉強し、さらに高校や高専では自分で選んだ学科を真

剣に勉強してきたのではないかと思います。しかし、今まで何のために勉強してきたのでしょうか？目的がはっきりしている人もそうでない人もいます。今一度考えてみてはどうでしょうか？その考えがあってこそ、この大学時代を楽しく過ごせるか決まると思います。なんとなく一日を過ごしてしまってもったいない一日だったと思ったときにでも考えてみてください、思い出してください。考えることは重要で、それによってこれからの人生を楽しく生きていけるかどうかを左右すると思います。

先輩より 新入生へのメッセージ



建設工学課程4年
斉藤 美咲
(福井高専 出身)

新生活を始める皆さんへ

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。そして、ようこそ長岡へ！皆さんは、これからの大学生活をどのように過ごしていこうと考えていますか。それぞれ色々な考えがあるかと思いますが、皆さんへ一番お勧めしたいのは、大学生活の中で様々な人と積極的に交流をすることです。交流のきっかけは、サークルやクラス、講義、そして地域活動など多くあります。知り合った先輩や友達からは、講義や生活面などのアドバイスや、視野を広げるきっかけをもらえます。また、先生方や地域の人と話すことで、将来社会に出ていくための勉強にもなるでしょう。

私は、去年皆さんと同じように本学に入学しました。その一年間という期間の内に、私にとって大きな変化が起きました。一例を挙げれば、広い考え方や行動力をもったことです。大学には、幅広い年代の様々な個性を持った人が全国、そして世界から集まってきます。そのような人達と交流をもったことが、広い考え方や行動力をもつきっかけとなりました。

皆さんも本学に入学してきた機会を生かして、思い切って様々な人と交流し、いい刺激を受けてください。そして、お互い中身の濃い大学生活にしていきたいと思います。

新入部員募集

自動車部

電気電子情報工学課程4年 石川 恭啓
(宮城高専 出身)

自動車部ではモータースポーツを通じて、日常の運転マナーや運転技術の向上を目指して様々な活動をしています。例として、ジムカーナ、ダートトライアル、ラリーの地方戦や、間瀬サーキット12時間耐久レースなどの参戦です。他にスーパー耐久等、全日本レベルのオフィシャルにも参加しています。毎週火、金曜日の12:30から講義棟1Fにて部会を開いています。競技に参加してみたい方はもちろん、車が好きな方はぜひ入部お願いします。 <http://nutac.web.fc2.com/>



毎年恒例の関東甲信越学生自動車連盟競技会、昨年2006年度総合優勝の記念写真

剣道部

機械創造工学課程2年 宮田 和亮
(宮崎工業高校 出身)

剣道部は毎週月曜日と木曜日の7時から9時まで練習しています。練習内容は基本的なことしかないのできつくはありません。部員は優しい人ばかりなのですぐに仲良くなれると思います。剣道をやってみたい、友達をつくりたいなど理由は何でもいいのでぜひ一度見学にいらして下さい。優しく対応いたします。初心者も大歓迎です。

釣り部

電気電子情報工学課程3年 佐藤 浩明
(長岡工業高校 出身)

春になり気温も高くなってきました。そろそろ釣りのシーズンも到来です。釣り部は約月1回のペースで主に日本海でのんびりと釣りをやっています。道具は貸し出ししているし、初心者の方でも全く問題なくぜんぜん釣れます。釣った魚はもちろん後の飲み会にて食べます。結構おいしいですよ。輪廓なメンバーが多く、気軽な感じのサークルなのでぜひ参加してみてください。釣って、そして飲み会で盛り上がりましょう。



まあまあ釣れております。

English Speakers League(ESL)

経営情報システム工学専攻2年 山崎 光子
(長野県松本工業高校 出身)

わたしたちは、英語を楽しく活用することを目的とした活動を行っています。教科としての英語ではなく、使って楽しむ活動をモットーにしています。主な活動は、技大祭での英語劇発表と、留学生との交流です。

詳しくはHPをご覧ください。

<http://www3.to/esl/>

・年間活動予定

4月 新歓および花見

5~9月 技大祭に向けて英語劇のシナリオ作りから練習まで

10~12月 留学生との交流など



悠久太鼓愛好会

電気電子情報工学課程4年 松田 俊寛
(富山商船高専 出身)

悠久太鼓愛好会つるがめ会は、太鼓と祭りをこよなく愛する和太鼓サークルです。

会員たちのほとんどはここ長岡の地で太鼓と出会い、その魅力に取り付かれ日々練習しています。

主な活動は長岡3大祭りの演奏と、自分たちで企画運営する和太鼓早春の陣の開催です。太鼓の音が聞こえてきたら、そちらのほうへ足を向けてみてください。背中に“鶴”のはっぴを着た太鼓バカ達が楽しそうに演奏しているかもしれません。

その他詳しい活動内容などはつるがめ会のHPにて。

<http://jdrum.at.infoseek.co.jp/>



先輩より 新入生へのメッセージ



環境システム工学課程4年
今井 健太郎
(新潟県立高田高校 出身)

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今、これから始まる大学生活に期待を抱き、また一方で新しい環境での生活に不安も感じていることと思います。高校や高専との違いに最初は戸惑うことも多いと思いますが、すぐにこの大学のペースに慣れてくるとと思います。大学はとても自由なところです。勉強をしてもしなくても、学校に来て来なくても、それをとがめられることはほとんどありません。自分のことを自分でしっかりと管理しないと、「出席不足で単位がもらえない」「単位不足で進級できない」などということになりかねませんので注意してください。

皆さんの中には将来を見据え何か明確な目標をもってこの大学に入学したという人もいれば、ただなんとなくこの大学に来たという人もいるかと思ひます。大学は勉強をするところですが、大学生活はそれだけではありません。サークル活動やアルバイト、友達と遊ぶ時間や自分の趣味の時間など、すべてひっくるめて大学生活です。そういった様々な経験の中から、この大学生活の自分なりの価値を見出していけばいいと思います。何もしなくても時間はあっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切に、充実した大学生活を送ってください。

先輩より 新入生へのメッセージ



生物機能工学課程3年
星 あゆみ
(福島県立相馬高校 出身)

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。まずは心よりお祝い申し上げます。さて、皆さんはこれからの大学生活にさぞ期待と不安を抱えていることでしょう。しかし私もまだ3年生。あまりまとめることは言えないかもしれませんが、これまでの経験から多少のアドバイスをさせていただきます。まず、大学の講義というと、なんだか難しそうというイメージがありますが、1年生の前期では比較的簡単な内容が多いのです。まずは基礎的なことを学び、夏休み明けにはそれぞれの課程に配属され、専門的なことも学ぶようになっていきます。どの課程に行くか決めていない人も、まずは

前期で満遍なく学び、よく考えるといいでしょう。技大は図書室やパソコン室などの設備が充実しているので、勉強するにはとてもよい環境だと思ひます。この時期にがんばっておくと、後が楽になります(逆にさぼってばかりいると...)。知り合った先輩から講義の内容や注意点などの情報を入手しておくのもありですね。また、勉強だけにとどまらず、バイトやサークル活動、新しい友人関係を通して人の輪を広げることも大事だと思ひます。充実した生活を送れるよう、色々な事に挑戦することをお勧めします。技大生としての新しい生活を思い切り楽しんでください。

新入部員募集

ヨット部

電気電子情報工学課程3年 金子 貴幸
(長野県松本県ヶ丘高校 出身)

ヨット部ではあなたの知らない海の魅力が味わえます！ヨットはエコロジー！ヨットはムズイ！でもヨットはアツイ！ヨットは生涯スポーツ！活動としては、天気の良い休日に柏崎や寺泊に出かけティンギーやクルーザーの練習をします。佐渡旅行にでかけたり、大会時にはバーベキューも振舞われる！目指せオリンピック！目指せ国体！目指せ海上 旅慣れティラー！…目的はそれぞれですが、ワキアイアイやってます！木曜12:30から学生ホールでミーティングをしているので興味のある人は声をかけてください！HPに書き込んでくてもOKです！<http://cgi42.plala.or.jp/yacht-cl/>



実践空手道部

機械創造工学課程4年 遠藤 広樹
(柏崎常盤高校 出身)

空手は文字どおり「空の手」、何も持たないことを指します。つまり空手を学ぶということは「己を鍛える」ということなのです。実践空手道部はフルコンタクト(実際に打撃を当てる)ルールで行っていますが基本・礼儀を重んじています。他の部活動とは異なり、昼休みに集中して稽古しています。経験・未経験などは全く問いません。やる気だけ武道場に持ってきてください。



先輩より 新入生へのメッセージ



経営情報システム工学専攻1年
田中正樹
(育英高専(現サレジオ高専) 出身)

人生は一瞬。大学生活も一瞬。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。みなさんにアドバイスを出来るような立場ではありませんが、私がこれまで経験したこと、感じたことを踏まえて新入生のみなさんにメッセージを贈りたいと思ひます。皆さんに一番伝えたいのは、大学は自由ということです。今までとは違い授業に出なくても勉強しなくても誰も何も言いません。すべて自己責任です。そういった面から見れば厳しいと思うかもしれませんが、これは自分を成長させるためのチャンスです。大学生活の中で何か目標を持って生活することが自分を成長させる第一歩ではないでしょうか。目標もなしに大学生活を過ごすのは自分に何もプラスになりません。目標は「履修し

た授業は休まず出る」でもいいでしょうし、「学会にむけて研究を頑張る」といった具体的な目標でもいいと思ひます。私も大学生活の中でダラけてしまったり途中で挫折してしまいましたが、そんな時に周りの人からの励まし、刺激をたくさんもらいました。皆さんも人との出会いを大切に、この貴重な数年間を無駄にはしないで下さい。モチベーションを常に持ってメリハリのある大学生活を送ることが出来ればきっと毎日が楽しくて充実した日々を送ることが出来ると思ひます。数年後、新入生のみなさんが「この大学に入ってよかった！」と思えるような学生生活を送ってください。変えるのは自分自身ですよ！



ハーバード模擬国連大会に参加!

模擬国連とは?

世界で起きている複雑な問題を解決し、平和や安全を維持するために国連が存在し、各国の大使は国益や世界の利を追求しながら議論する。模擬国連とは、実際の国連会議さながらの内容を各国大使に扮して行うことである。

模擬国連の歴史は、1923年に米国のハーバード大学で開催された「模擬国際連盟」に遡り、日本では1983年に緒方貞子氏によって始められた。ハーバード大会は毎年2月に行われ、世界各国から3,000人近くの学生が集まる世界最大規模の模擬国連大会である。近年、日本からハーバード大会へ参加しているのは本学ただ一校のみである。現在、日本の模擬国連に関する実態は、首都圏を中心に全国で400名程の政治・経済、国際情勢について学ぶ学生たちが活動を行っているが、工学部の学生は殆どいない。



模擬国連に参加して

機械創造工学課程4年
齊藤 俊洋
(模擬国連サークル代表)

私たち長岡技術科学大学模擬国連サークルは、2月15日～2月18日の4日間、アメリカのハーバード大学が主催する、ハーバード模擬国連大会に参加して来ました。模擬国連とは、学生が国際連合等の会議を行う競技です。ある決められた議題について発言、交渉を繰り返し、最終的には参加した全ての国が了承できる決議案を作成するのが目的となります。中でもハーバード大会は今回で53年目、世界中から参加者が集まる、世界最大の大会です。日本にも数多くの模擬国連チームがありますが、この大会に参加しているのは私たちのみです。また模擬国連の出場者は文系大学の学生が多く、技術系の大学から参加、という点でも珍しく、大きな挑戦であるといえます。

今年で4年目となった私たちの挑戦、最初にぶつかったのは、資金の壁でした。確かに、各メンバーがアルバイトで資金を作ることはできます。ですが、私たちはあえて寄付や募金を資金とすることを決めました。サークルという一つの団体として、活動に全力を尽くしたいと考えていたためです。この活動は、アルバイトよりもずっと大変なことでした。しかしこれによって、メンバーが一丸となり、結束力を強めることができました。また、資金を提供していただいた、という責任感により、各自のモチベーションを高めることにもつながりました。

アメリカに渡航してからは、ほとんどのメンバーが外国初体験ということもあり、毎日が新鮮ながら、苦勞の連続でした。飲食店のオーダーが上手く伝わらなかったり、チップの支払い等、文化の違いに戸惑ったり。もちろん、最初は時差にも苦しめられました。それでも、会議前の準備期間で各自時差はけから回復し、英語に慣れ、全メンバーが日常生活は過ごせるよう

になっていました。

さらに会議では、世界中から集まった参加者の数や、日常英語以上に難しく、スピードの早い英語という壁がありました。しかしその中で、各メンバーがツバルという国の大使として、7会議で全力を尽くしてきました。ツバルというのはとても小さい島国で、現在地球温暖化による海面上昇に悩まされています。そこで今回の7会議7議題で、私たちは地球温暖化をいかに関連させて決議に盛り込むか、ということに重点を置いて話し合いに臨みました。

結果は、1位、2位、3位しか賞をもらえない今年の大会では入賞することはできませんでした。しかし、流暢に英語を話せる参加者でも途中欠席してしまうような難易度の会議の中で、最終的な決議案にツバルの意向を含めることができました。会議で公的なスピーチを行ったり、スピーチよりも裏での交渉活動を行ったり、似たような立場の国を味方につけて勢力を大きくする等、各自会議での行動はそれぞれでしたが、皆が積極的に会議に参加することができました。

4年目となる今回は過去三回のノウハウの蓄積を経て、過去最高のものになったと自負しています。今はまだ歴史が短く至らない所も多々ありますが、経験を確実に後輩に引き継いでいくことで更に洗練された活動にしていきたいと思っています。また、私たちは普段、模擬国連の話し合いだけではなく、その結果のために何か行動に移すことを活動の一つとしています。今回担当したツバルが抱えている問題は、地球温暖化でした。今後私たちはこの問題を自分達の活動に盛り込み、行動に移していく予定です。



Message 卒業生だより

卒業してから5年間

八重樫 学
勤務先：三井化学(株) 生産・技術部 三井化学
コンパウンド技術管理G 技術開発T
(平成14年3月 材料開発工学専攻修了)

大学院を修了してもう5年の歳月がたち、ちょうど大学、大学院に在籍していたころと同じ期間になってしまいました。会社に入って一番苦勞したことは、また1からのスタートだったことです。社会人になったばかりの私は大学で学んだ専門を生かして仕事したいと夢を持っていましたが、配属はせっかく習った高度な専門とは程遠いところでした。しかし、良き先輩方のご指導やご助言、そして大学時代に習った基礎の知識、高度な専門分野を学んだときに得た考え方や解析能力のおかげで、今はそこそこやっていけるようになりました。現在は良き先輩や後輩と良い意味で議論したり、教わったり、教えたりして自分を磨いている所です。

私事はさておき、これを読んでくださっている

学生の皆さんは、現在目標を持っている方、目標を見つけようとしている方、いろんな人がいると思います。大学は単位さえ取れば卒業はできますが、ただ卒業した方と何かを行ってきた方とは社会人になったときに大きな差になります。大学は長期休暇等があるので、勉強に限らずどんなことでもいいので何かアクションを起こすと楽しい大学生活を送れると思います。そしてそれが後々役に立ちます。是非、大学生活を有意義なものにして下さい。ちなみに私は公私合せて良い人にめぐり合えたことが最大の財産で、日本酒にはまっていました。



先輩の船で釣りをしたときの写真です(筆者右)

社会人学生やっています

岩間 直子
勤務先：青森県工業総合研究センター 弘前地域技術研究所
生命科学研究部
(平成11年3月 生物機能工学専攻修了)

私が大学院を修了してから、そろそろ8年が経とうとしています(年齢は計算しないで下さい)。現在は、故郷の青森県の研究職公務員として工業系の試験研究機関に在籍しております。従事している内容は一言でいえば「生命体に関わることなら何でも」です。実際に現在私が担当しているだけでも、最近はやりのトクホ(特定保健用食品)を目指して食品中の優れた生理機能物質に関する研究を行ったり、りんご加工産業由来のバイオマス系廃棄物の利用技術の開発、または酵母や麹菌、酢酸菌などの発酵微生物に関する研究等にいたるまで多岐に亘っております。

それらの課題に対応できる一人前の研究者になろうと一念発起して、数年前から大学院の博士課程に社会人入学し、勤務を続けながら学生と社会人との二足のわらじ生活を只今送っています。大学院を修

了してから5年のブランクがあることもあり、感覚を取り戻すまでに苦勞しましたが、何とか順調に進み今年で無事最終年を迎えることが出来ました。今まさに博士論文の作成の最中なのですが、かなり肉体的にも精神的にも追い込まれているところです…。

そんな二足のわらじ生活でしみじみと実感するのは、純粋に研究に没頭できるのは学生である時だけだということです。研究職だったら好きなだけ研究できるじゃないかと思われるかもしれませんが、実際にそんな恵まれた研究環境にいられる研究者は本当に希です。なので、是非今学生の皆さんには貴重なこの学生生活を有効に使って、研究者・技術者としての力を今のうちに蓄えていって欲しいと思います。同じ学生同士、お互い頑張りましょう。



研究所の近くにある弘前公園で毎年冬に開催される雪灯籠まつりにて

長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム(E-Conan)を稼働しました

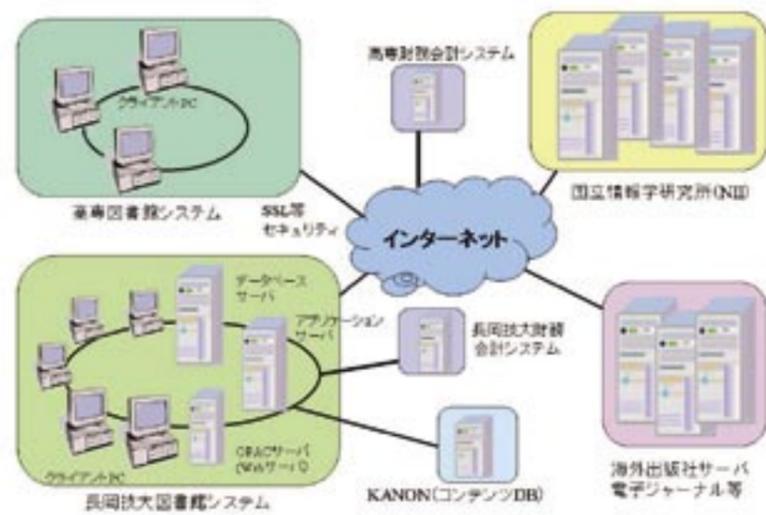
本学では、従来から高等専門学校と連携し、電子ジャーナル、二次データベースのコンソーシアムを形成して教育・研究の支援を行っています。

近年、図書館業務は年々電子化され、その内容は多様化しています。本学ではこれに対応するため、利用者サービスを充実させ、教育・研究の更なる支援、また、現在求められている図書館機能、少人数での新規サービスの展開等、業務の合理化を図るべく、独立行政法人国立高等専門学校機構と連携し、高等専門学校図書館との統合図書館システムの共同構築を図り、平成19年3月1日からシステムの運用を開始しました。

具体的には、これまで各高等専門学校図書館が個々に管理を行っていたデータを本学に移行し、今後は本学のサーバで一括管理するというものです。各高等専門学校

の図書館ではインターネットを介して業務を行うことにより、海外出版社、他機関等の電子ジャーナル等、幅広い情報の提供を素早く行い、更なる利用者サービスに努めます。

全国の計42校の高等専門学校が参加するこのシステムは、平成19年3月に14校が運用を開始、9月に11校、平成20年3月に12校、平成21年3月に5校が稼働することになっています。



新図書館システムのイメージ図(広報用)

長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム運用開始一覧

平成19年3月1日運用開始 長岡技術科学大学、14高専

- 八戸工業高等専門学校
- 富山商船高等専門学校
- 奈良工業高等専門学校
- 佐世保工業高等専門学校
- 仙台電波工業高等専門学校
- 長野工業高等専門学校
- 新居浜工業高等専門学校
- 熊本電波工業高等専門学校
- 秋田工業高等専門学校
- 沼津工業高等専門学校
- 弓削商船高等専門学校
- 長岡工業高等専門学校
- 豊田工業高等専門学校
- 北九州工業高等専門学校

平成19年9月1日運用開始 11高専

- 函館工業高等専門学校
- 群馬工業高等専門学校
- 大島商船高等専門学校
- 苫小牧工業高等専門学校
- 石川工業高等専門学校
- 阿南工業高等専門学校
- 釧路工業高等専門学校
- 松江工業高等専門学校
- 有明工業高等専門学校
- 小山工業高等専門学校
- 津山工業高等専門学校

平成20年3月1日運用開始 12高専

- 旭川工業高等専門学校
- 岐阜工業高等専門学校
- 呉工業高等専門学校
- 一関工業高等専門学校
- 鳥羽商船高等専門学校
- 徳山工業高等専門学校
- 東京工業高等専門学校
- 米子工業高等専門学校
- 詫間電波工業高等専門学校
- 富山工業高等専門学校
- 広島商船高等専門学校
- 大分工業高等専門学校

平成21年3月1日運用開始 5高専

- 茨城工業高等専門学校
- 鹿児島工業高等専門学校
- 舞鶴工業高等専門学校
- 高松工業高等専門学校
- 高知工業高等専門学校

平成18年度 就職状況等一覧

(平成19年3月26日現在)

事項	大学院(修士課程)					学部					求人状況				
	修了者数	就職者数	進学者数	復職者数	自営業	その他	卒業生数	就職者数	進学者数	復職者数	自営業	その他	求人件数	求人数	求人倍率
課程・専攻															
機械創造工学	101	89	5	6	1	107	21	83				3		2,327	21.0
機械システム工学	1	1												2,313	20.7
電気電子情報工学	95	88	6		1	125	24	97				4		1,707	34.1
材料開発工学	48	41	1	3	3	51	9	42						1,770	24.9
建設工学	24	22	1	1		41	5	34				2		1,565	46.0
環境システム工学	44	40	2	1	1	52	4	45	2	1				1,972	53.3
生物機能工学	33	26	6		1	57	8	49						11,654	28.1
経営情報システム工学	31	24	5		2	38	13	23				2			
計	377	331	26	11	9	471	84	373	2	12					

事項	大学院(博士後期課程)			
	修了者数	就職者数	復職者数	その他
専攻				
情報・制御工学	9	5	2	2
材料工学	19	11	6	2
エネルギー・環境工学	15	11		4
計	43	27	8	8

注1) 年度途中修了者を含む。

注2) その他は外国人留学生の帰国を含む。



ACCESS

- 東京から上越新幹線約90分
- 長岡駅大手口から
[バス] 技大前行乗車約30分
[タクシー] 8.5km, 約20分
- 関越自動車道
北陸自動車道
長岡J.C.から約5分

